



GENERAL MACHINERY

30  Fujii

フジイコーポレーション株式会社

●企業DATA

〒959-1276 新潟県燕市小池285 ハーベスタハウス2F
TEL.0256-64-5511 FAX.0256-66-1026
URL <http://www.e-fujii.co.jp/>

【主な拠点】

機械事業：〒959-1276 新潟県燕市小池285 ハーベスタハウス1F
ダイレスプレス事業：〒959-1263 新潟県燕市大池3283-1
鋼材事業：〒959-1277 新潟県燕市物流センター2-3ここに
自信
アリ!世界で唯一のサンタクロス公認除雪機を作っています。
国内のシェアは第5位。輸出シェアは第2位。

▶ 私たちが進める世界基準の「モノづくり」

グローバルスタンダードの除雪機

鋼材加工から、組立まで一貫生産。除雪機は、国内はもとよりヨーロッパへも輸出。そのシェアは国内第5位。防衛庁・国交省を始め、J.R等に納品実績。南極の基地を始め、北極圏にあるフィンランド・サンタクロス村や、「冬のソナタ」のロケ地・龍平スキー場等にも使用。輸出のシェアは第2位。

現場最前線

2007年に、フィンランド・ロバニエミ市のサンタクロスから、公認除雪機として認定されました。

Official Supplier of Santa Claus

会社概要

代表者名 藤井大介
資本金 1,200万円
年商 約25億円
従業員数 約135人
設立年月 1865年5月21日

沿革

慶応元年、農業機械メーカーとして創業。現在は、除雪機・乗用モーター・高所作業車を開発・製造・販売しています。電子制御プログラムも、自社開発しており、「ハードからソフトまでのモノづくり」をおこなっています。販売先は、国内およびEU等の海外市場です。

事業内容

創業の事業である機械事業は、除雪機・乗用モーター・高所作業車を開発・製造・販売しています。電子制御プログラムも、自社開発しており、「ハードからソフトまでのモノづくり」をおこなっています。販売先は、国内およびEU等の海外市場です。

その他

ダイレスプレス事業：「金型プレスでプレス加工」をコンセプトに、プレス加工をしています。鋼材事業：鋼材の販売の他に、模金加工による模金加工をしています。

お問い合わせ先

TEL.0256-64-5511 (総務)
TEL.0256-64-5512 (機械事業)
<http://www.e-fujii.co.jp/>
携帯用HPは下のQRコードからQRコードで
携帯サイトへ

除雪機



多色混合塗装料

こんなものを作っています!!

知財オープン戦略で業界標準を先導

一段オーガー（除雪機の前面にあり、積もった雪を砕いて、掻きこむ部品）や電動シュート（投雪方向を決める部品）、除雪機の後進時安全装置、急進防止のゼロ進レバー等は、弊社が開発、他社も採用し、除雪機のデファクトスタンダードになっています。また新型除雪機には、同一地点に常時投雪するロックオン機能、緊急停止装置の常時故障検知モニターなど、他社にない特長が多くあります。弊社工場における新塗装設備では、省資源・省エネ・地球温暖化防止・廃棄物の低減を徹底に行っています。中でもお客様が直接目にするのでできる形として、商品の内部部品には、あずき色のエコ1号色（多色混合塗装料：右下の写真参照）を使用し、廃塗料ゼロを実現しています。地球環境を意識した事業活動で、持続可能な発展ができる豊かな社会の実現に貢献しています。



社長 藤井 大介

社長からのメッセージ

常在現場で、理想を追求する姿勢

「常在現場で、粘り強く、理想と現実のギャップを埋めていく人材に魅力を感じます。弊社のモノづくりの中核技術に、溶接のフォークシステムがあります。これは、入社2、3年の若い社員三人が、新潟県の「ゆめ・わざのつくり」の支援を受けておこなった案件です。結果を恐れず、理想のシステムを求めて、現場で知識を知恵に変えながら、一歩一歩実現したシステムです。現在、新工場では、更に省人化を進めたフォークシステムVer.2が活躍しています。（フォークシステム：複数の溶接ロボットの移動状況に応じて、溶接を行うロボットをフレキシブルに選択できるシステム。溶接する部品が、一列に待機し、選択された溶接ロボットに割り付けられる様子が、フォークと同じ形から名付けました。）

歩実現したシステムです。現在、新工場では、更に省人化を進めたフォークシステムVer.2が活躍しています。（フォークシステム：複数の溶接ロボットの移動状況に応じて、溶接を行うロボットをフレキシブルに選択できるシステム。溶接する部品が、一列に待機し、選択された溶接ロボットに割り付けられる様子が、フォークと同じ形から名付けました。）

品質向上のため、
問題点の追求に
妥協はしないINTERVIEW
商品開発
品質エンジニア

平田 千博

1998年入社 広島県尾道市出身

広島県立尾道北高等学校卒業、長岡技術科学大学機械システム工学科卒業、当社入社、製造部（商品改良）→商品開発（中型除雪機の設計）→品質を担当、現在に至る



暮らしのレポート

信濃川

水の都

新潟といえば日本最長の信濃川。その信濃川を中心に産業と自然が発達しています。山も海もあり、晩秋になるとサケの遡上が見られ、白鳥のV字飛行を見ながら通動しています。自然と調和した都市。まさに水の都と呼ぶにふさわしいのではないのでしょうか。

私の仕事は、商品開発に所属しているメリットを活かし、『設計活動で設計品質を確立しこれを達成できるように製造品質を作り込む』といったことをしています。作り込むには現場の声を無視することはできません。生産現場からの声は作業上や工程の問題などがほとんどで（たまたに愚痴もあったりしますが）、これはお客様の声つまりクレームに直結することが多いのです。この問題点と原因の追求に妥協

があると、品質の向上は得られないでしょう。技術は日々進歩しているのだから、求める答えは1つではないです。極端な場合、明日には変わっていることも。仕事は決して楽なものではありませんが、身に付く技術や感覚、また社会を支える商品をつくる実感は、社会人として貴重な財産となります。乗り越えられるような自分のやりがいを見つけることが大切です。

世界初・業界初の
制御機能の開発に挑戦 ▶▶▶INTERVIEW
設計・開発
特許関連

栗原 信

2008年入社 大府市出身

和歌山県の高校を卒業後、2002年新潟大学工学部入学、2006年新潟大学大学院自然科学研究科入学、2008年当社に入社（商品開発部 制御グループ所属）



当社の主力製品である除雪機や草刈機、高所作業車などの制御ユニットの開発、電装系の設計・試作などを担当しております。商品開発部では、除雪や草刈りの作業中に存在する危険性を取り除き、利用者の安全を確保するための機能や、利用者の思いを汲んだ便利な機能の開発に取り組んでいます。特に安全性の確保というのは、何よりも優先すべきテーマであると考えています。そのため、現場から

の声を最大に重視し、世界初、業界初となる制御機能の開発にも挑戦しています（特許申請中）。その中において、制御ユニットや電装はあらゆる機能の命令系統であるので、徹底した安全と信頼の設計に努めています。まだまだ未熟な私は、上司や先輩から学ぶ日々です。農業機械の開発は、食料生産などの社会のニーズを満たす仕事なので、誇りを持って日々の仕事に取り組んでいます。

休日の過ごし方

休日は、自分の好きなことを思いっきり楽しんでいます。例えば、会社の先輩や友達とバスケットをしたり、大学の後輩と合気道をしたり、スポーツをした後は美味しいものを食べに行ったり、映画を観たりしています。他には、若いうちに自分を鍛えておくことが大事ですので、彼女と一緒に、技術者の資格や外国語検定の勉強を楽しみながら行っています。